

本日は、イケトークにご参加いただきありがとうございました。

本日使用したjamboardやいただいたリフレクションを共有させていただきます。

ぜひ、ご活用ください。

話し合いで活用したjamboard

意見・感想・提案

- ・困り感は多面的に見ないとずれるかも
- ・係がすることも大切ですが自分で入力する方がやらなければいけない内容が把握できる子もいるかも
- ・課題カレンダーの活用は情報共有にとっても役立つ
- ・保健室の利用児童の傾向？
- ・限りある資源と人材の中でできる支援を考えたい
- ・困り感に見える化→取り組みは成功したことを聞く
- ・小学校でも教科担任制が取り組まれつつあります。各教科の課題量などが把握でき、教員にも役立ちますね。習い事もあり、放課後も忙しい子どもの学校の負担量を把握できることは、児童理解に繋がられると思いました

本日はありがとうございました

- ・教員が課題の内容と期限については共有すべきなのはわかっている点ですが生徒同様にやらなくなってしまいそうです。
- ・教室とカレンダー両方あり自分でやりやすい方を見て動けるのも良い
- ・カレンダーの中に 自分のスケジュールや課題をやる日など簡単に入力できると良い
- ・カレンダーの色が濃いので少し薄い色を指定できたり 自分で色を選んでも良い
- (感想)特別支援ではなく、学び支援。保健室にくる子どもたち、情緒的な支援だけでなく、学び支援をすることで学校生活が楽になるケースも多々あると思います。そこに踏み込む視点が興味深く学びになりました。
- ・個人の能力の勝ち抜き戦ではなく、みんなで、課題を乗り越えていく、そこに面白みや喜びがあれば、腹痛を訴える子も減ってくるかも...そういう視点で課題カレンダーの活用も深まればおもしろいと思います。

疑問・質問・お悩み

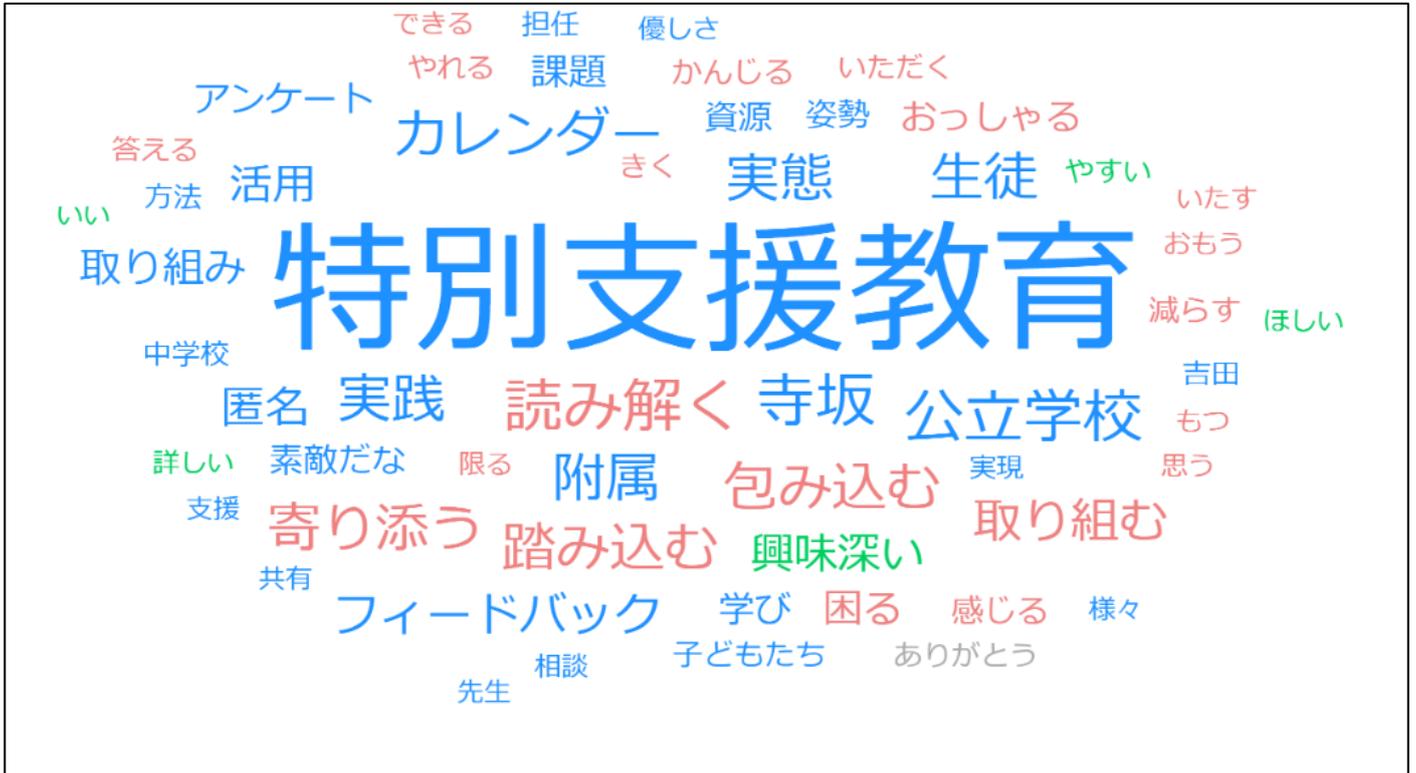
- ・学習方法に関する困り感への対処は？

- ・今回実践されていることが「課題カレンダーの活用」ですが、実践計画段階では他の案もあったんでしょうか。また、生徒のコミュニケーションに関わる困り感の支援としてはどのような方法を取られていますか
- ・課題カレンダーを元に、自分にあったスケジュールアプリなどを各々で活用するのが望ましいのではないかと思います。附属池田中学校では通級という制度はないのですか？

参加者の方からいただいたリフレクションアンケートのご意見、ご感想

下の図は、感想を基に作成したテキストマイニングになります。

①本日の学び(学びが深まったこと、新たな疑問など)



・生徒の困り感に寄り添う姿勢から、吉田先生が持つ包み込む優しさを感じました。
 →ありがとうございます。保健室で健康相談の対応の中で本当に困っている生徒の姿に接します。生徒が答えや方法をみつけることに寄り添うことが、養護教諭としての役割だと感じています。保健室を利用しない生徒に対しては、学び支援の立場から全体に対してできることを実践できればいいなと思います。(プレゼンターの意見)

・課題カレンダーをより活用するためにはどうすればいいのかを考えなければならなかった。
 課題カレンダーがうまく活用できればメリットは大きいと思います。改善しながらすすんでいければと思います。
 →課題カレンダーがうまく活用できればメリットは大きいと思います。改善しながらすすんでいければと思います。(プレゼンターの意見)

・アンケートから子どもたちの実態を読み解き、限られた資源の中でやれることとしての課題カレンダーの活用、とても興味深かったです。これからどんな形の支援が展開されるのか、またきいてみたいとおもいました。そして、どんな方法であれ、いいんじゃないかなと思ったことを一歩踏み込んで取り組んでみる、そんな姿勢が何より今日の学びでした。ありがとうございました。
 →ありがとうございます。学び支援の方法は全員に合うやり方が難しいことだとは思いますが、生徒一人ひとりが自分をふりかえり、自分のやりやすい方法を見つけ、学びの面白さを深めることができればいいと思います。共通した課題を考えながら、模索していきたいです。(プレゼンターの意見)

・感想です。本日は実践発表、ありがとうございました。附属中学校における特別支援教育の実践を新たに知ることができ、とても貴重な時間となりました。公立学校の先生方も参加されていたので、様々なお話を聞くことができ、とても参考になりました。参加させていただき、ありがとうございました。

→ありがとうございます。それぞれの学校によって、課題や生徒の様子は違いがあるように思います。附属の課題もありますし、学校教育の課題もあります。それぞれ課題を明確に意識しながら、学び支援を進めていければと思います。1人の知恵は小さくともこのように交流しながら工夫できればと思います。ありがとうございました。(プレゼンターの意見)

・子どもの困り感への対応について

→生徒自身、何に困っているのかわからなかったり、表現できなかつたりすることも多いように思います。困っていることを聞いても答えが出てこないこともあります。そのような様子からアンケートをはじめの一步としました。生徒の困り感に向き合う時に、本人が主体的に考えることが大事なので、話を聞きますが、時間がかかることも多いです。自分の取り組むことが出来そうなことを ICT によって、選択できるような環境になるともう少し安心して学校生活を過ごせるかもしれません。私もこれからも考え続けたいと思います。ありがとうございました。(プレゼンターの意見)

・課題カレンダーの取り組みの実践はもちろんですが、授業者や担任が感じていた生徒の課題を丁寧なアンケートをとることでより詳しく実態を共有することができていて素敵だなと感じました。寺坂先生がおっしゃっておられた、生徒に対してのフィードバックについてはぜひ実現させてあげてほしいと思いました。課題カレンダーの実践の今後の経過や生徒の変容などを聞かせていただく機会があれば、ぜひお願いいたします。とても楽しみです。本日はありがとうございました。

→ありがとうございました。取り組みと行動変容について焦点を絞って考えることができると面白いと思います。フィードバックが次の一步だと思います。ありがとうございます。(プレゼンターの意見)

・「中学生の困り感」という点に注目していました。Google フォームでのアンケートは実施する側の負担を減らしてくれる一方、生徒も答えやすいように感じています。また、困り感をもつ生徒の相談方法として、対面で話をじっくり聴くことが効果的な場合があります。一方で相談者が匿名であるほうが本音で話しやすい場面もあるかと思えます。そういった場合は、学校という安全な範囲のなかで、ICT を活用して匿名相談に応じることができないものかと思いました。方法は変化していきますが、児童生徒に寄り添うということは変わらずに必要なことなのだと感じました。今日はありがとうございました。

→ありがとうございました。相談の方法はバリエーションがあるといいですね。私は養護教諭で、学習についての実際はわかっていない部分も多いと思います。例えば、うまくいった方法を生徒同士で共有できる場も面白いかもしれません。私が見つかることよりも実は当事者である生徒の方がいいアイデアを持っていると思います。その場の提供などが学び支援担当としてできればいいなと思います。(プレゼンターの意見)